

## 財務諸表に対する注記

平成28年度

### 1.重要な会計方針

#### (1)有価証券の評価基準及び評価方法

基本財産である投資有価証券

期末日の市場価格等に基づく時価法によっている

#### (2)固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は定率法によっている

#### (3)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている

### 2.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,556,850,000	0	0	1,556,850,000
投資有価証券	987,000,000	261,000,000	0	1,248,000,000
小 計	2,543,850,000	261,000,000	0	2,804,850,000
特定資産				
30周年記念準備金 積立	0	10,000,000	0	10,000,000
小 計	0	10,000,000	0	10,000,000
合 計	2,543,850,000	271,000,000	0	2,814,850,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金	1,556,850,000	(1,314,350,000)	(242,500,000)	—
投資有価証券	1,248,000,000	(1,248,000,000)	—	—
小 計	2,804,850,000	(2,562,350,000)	(242,500,000)	—
特定資産				
30周年記念準備金	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
小 計	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
合 計	2,814,850,000	(2,562,350,000)	(252,500,000)	—

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備 品	280,560	280,559	1

### 5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産(運用益)から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	運用益金額	振替金額	差額(指定正味財産増減額)
経常収益への振替			
指定正味財産受取利息	1,670,688	1,670,688	0
指定正味財産受取配当金	37,500,000	37,500,000	0
合 計	39,170,688	39,170,688	0